平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ (Seminar Ⅳ)【今西ゼミ】			授業コード	E002728
担当教員名	今西 衛			科目ナンバリングコード	E41204
配当学年	4	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	わからないことがあれば、その都度、講義時間内、あるいは研究室、メールなどで積極的に質問してください。小さな疑問から大きな関心につながることがあります。				
受講心得	ゼミでは、どんな小さなことでも構わないので、まちの課題を自分自身でみつけて、ゼミの仲間と一緒に課題を解決する政策を議論してください。学生皆さんの議論が非常に重要です。わからないことは、一人で悩まないでください。また、議論だけだと、主観的になったり、感情的になったりするので、ものごとを客観的に捉え、論理的に説明できる(相手が納得できる)力を身につけてください。ゼミの時間は作業時間ではありません。講義時間外に論文、プレゼンを作成して下さい。				
教科書	みなさんの関心にあわせて適宜、紹介します。				
参考文献及び指定図書	増田寛也「地方消滅-東京一極集中が招く人口急減」、中公新書、2014 デービッド・アトキンソン「イギリス人アナリスト 日本の国宝を守る」、講談社+α新書、2014				
関連科目	プログラミング入門、プログラミング言語、データ解析A、データ解析B、情報システム論、システム分析論、データベース論、マーケティングリサーチ				

授業の目的	世の中で起きている社会現象を経験と勘のみでは、正しく理解できなかったり、問題の解決にはつながらないことがあります。 このゼミでは、科学的なデータから客観的に社会現象をとらえることで、政策評価を行う力を養ってもらいます。
授業の概要	大分都心部をメインテーマとして、皆さんの関心にあわせたテーマを設定し、問題発見、分析、課題解決、プレゼンテーションを行い、最終的に、学内外の報告会での報告、論文発表、卒業論文につなげていきます。正課時間外の活動も積極的にゼミ活動に参加してもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : オリエンテーション・テーマの選定 大分都心部を中心として、テーマを設定してください。	論文素案提出(4時間)
第 2 週 : 問題発見 各自、テーマに沿った問題発見をし、整理をしてください。適宜、発表してもらいます。	論文素案提出(4時間)
第 3 週 : 問題発見 各自、テーマに沿った問題発見をし、整理をしてください。適宜、発表してもらいます。	論文素案提出(4時間)
第 4 週 : データ収集 データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。	論文素案提出(4時間)
第 5 週 : データ収集 データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。	論文素案提出(4時間)
第 6 週 : データ収集・アンケートの作成 データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。	論文素案提出(4時間)
第 7 週 : データ収集・アンケートの作成 データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。	論文素案提出(4時間)

第 8 週 : データ収集・アンケートの実施 データを収集してください。適宜アンケート調査も実施ます。	論文素案提出（4時間）
第 9 週 : データの整理 収集したデータを整理します	論文素案提出（4時間）
第10週 : データの整理 収集したデータを整理します	論文素案提出（4時間）
第11週 : データの整理 収集したデータを整理します	論文素案提出（4時間）
第12週 : データの整理 収集したデータを整理します	論文素案提出（4時間）
第13週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第14週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第15週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第16週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第17週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第18週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第19週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第20週 : データの分析 データをどのように分析します	論文素案提出（4時間）
第21週 : プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	卒業論文計画書の作成（4時間）
第22週 : プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	プレゼント論文の作成（4時間）
第23週 : プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	プレゼント論文の作成（4時間）
第24週 : プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	プレゼント論文の作成（4時間）

第25週：プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	プレゼント論文の作成（4時間）
第26週：プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	プレゼント論文の作成（4時間）
第27週：プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	プレゼント論文の作成（4時間）
第28週：プレゼンテーション、卒業論文の作成 プレゼンテーションと卒業論文を作成します。	卒業論文、プレゼンの提出
第29週：プレゼンテーション プレゼンテーションしてもらいます。	
第30週：プレゼンテーション 各自が作成した卒業論文の発表会を行います。	
第31週：定期試験 定期試験はありませんが、フィールドワーク、学内外での報告は評価の対象とします。また、卒両論文は発表会で発表します。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	レポートをメールで提出してもらいます。	

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	まちで起きている出来事を理解し、客観的に理解する力を身につけてもらいます。
【知識・理解】	まちの活性化でひつようなこと、マーケティングの知識を身につ行けてもらいます。
【技能・表現・コミュニケーション】	調査を行える技能、レポート、プレゼンテーションの表現力を身につけてもらいます。
【思考・判断・創造】	まちの活性化というプロでも難しい課題を、どのような切り口で考え、新しいアイデアを出せるかを身につけてもらいます。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**20点**	**20点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**10点**	**10点**	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**10点**	**10点**	

【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**10点**	**10点**

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	毎回の講義で課題が課されます。したがって、毎回出席していないと、課題も提出できませんので注意してください。 Sレベル：　ゼミの議論を超えて、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Aレベル：　ゼミの内容を踏襲し、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Bレベル：　課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。 Cレベル：　課題解決の提案がない
発表・その他 （無形成果）	発表等も、講義の中で行います。出席していないと、発表もできませんので注意してください。 Sレベル：　客観的な説明に加え、聴衆を引き付ける魅力的な発表を行っている。 Aレベル：　客観的に論理的に発表している。 Bレベル：　客観的ではないが、相手に伝わるよう発表している。 Cレベル：　発表の内容が相手に伝わらない。